

盲ろう者が通訳・介助員派遣事業を利用するに至るプロセス

○ 筑波大学大学院人間総合科学研究科 前田 晃秀 (8386)

小澤 温 (筑波大学・260)

キーワード：盲ろう、通訳・介助員派遣、意思疎通支援

1. 研究目的

わが国には 14,329 名の盲ろう者が存在することが推計されているものの（前田 2016）、都道府県地域生活支援事業における意思疎通支援事業の一環として実施されている盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業（以下、派遣事業）の利用者数は 1,080 名であり（全国盲ろう者協会 2017）、利用率は 1 割に満たない状況である。

本研究では、派遣事業の利用に至るプロセスを可視化し、同事業の利用を促進・阻害する要因を明らかにすることで、盲ろう者へのサービス利用支援のあり方を検討する。

2. 研究の視点および方法**1) 調査協力者**

派遣事業の受託団体の協力を得て、調査協力者の紹介を受けた。そのうち、「派遣事業に利用登録し、週 1 日以上利用している」、「触覚的受信コミュニケーション方法を使用している」全国 6 地域の重度盲ろう者 8 名を本研究の分析対象とした。

2) 調査方法

事前に作成したインタビューガイドを元に個別の半構造化面接を行った。すべての調査協力者が触手話や指点字、手書き文字等を受信コミュニケーション方法としていたため、それぞれ通訳・介助員の通訳を通して聞き取りを行った。調査時間は約 90 分～240 分程度であった。面接内容については、IC レコーダー、デジタルビデオカメラに録音、録画した。

3) 調査項目

①生活歴・障害歴、②現在の生活状況、③派遣事業の利用状況や経緯、④他の福祉サービスの利用状況や経緯など

4) 分析方法

視覚障害と聴覚障害が重複した後の生活状況や派遣事業の利用に至る経緯などの発言に焦点化し分析。得られた 75 コードをサトウ (2009) の TEM (複線径路・等至性モデリング) の手法を用いて、分析し、TEM 図を作成した。

3. 倫理的配慮

本調査にあたり、調査協力者と派遣事業の受託団体の担当者に研究の目的や個人が特定されないように記述すること等を事前に文書で示し、さらに、調査当日、必要に応じ、通訳・介助者を介した上で、本人には再度、同内容を説明した。なお、本研究は社会福祉法

人全国盲ろう者協会の研究倫理委員会の承認を得て実施した。

4. 研究結果

TEM の基本概念である「等至点(EFP)」を“派遣事業の利用”と設定し、等至点に至るまでの「分岐点(BFP)」「必須通過点(OPP)」「社会的方向付け(SD)」「社会的ガイド(SG)」などを検討することで、そのプロセスと背景要因を捉えることを試みた。

“派遣事業の利用”に至るまでのプロセスは全Ⅳ期に分類された。第Ⅰ期は「視聴覚障害の重複と社会参加の困難」、第Ⅱ期は「派遣事業以外の支援」、第Ⅲ期は「『盲ろう』に関する情報提供」、第Ⅳ期は「『盲ろう者』としての自己の捉えなおし」である。

TEM 図を言語化すると次の通りになる。

視覚と聴覚の障害が重複し、さらに重度化することで、情報入手や外出・移動、コミュニケーションなどに「社会参加の困難」(OPP)が発生する(第Ⅰ期)。このため、家族や手話通訳、ガイドヘルパーの利用といった既知の「周囲からの援助」(BFP)により、困難の解消を図ろうとするケースもある。しかし、本人の抱えるニーズに十分に対応できる支援ではないため、困難は解消されない(OPP)(第Ⅱ期)。そのような状況を踏まえ、家族・知人や医療・福祉関係者から、盲ろう者が利用・参加できる社会資源の情報が本人にもたらされる(『盲ろう』についての情報提供(BFP))(第Ⅲ期)。その情報を得て、派遣事業の利用につながる(EFP)ケースがある一方、残存機能の喪失や心理的变化などの「心身の状況の変化」(BFP)を経て、利用につながるケースもある(第Ⅳ期)。

5. 考察

独力で支援の情報を得ることができない盲ろう者は、「社会的孤立」から脱することが非常に困難な状況に追い込まれてしまう。

一方で、盲ろう者が自分自身の生活をサポートするサービス等の有益な情報を得るためには、家族や友人、地域住民、福祉サービスの従業者等が、直接、入手した情報を伝えていくことが有効であることも示唆されている。

このようなことを踏まえ、「市町村ごとの実態把握による盲ろう者の存在の把握」、「把握した盲ろう者を対象とした地域福祉関係者(ケースワーカー、相談支援従事者など)による訪問支援の充実」などの方策により、派遣事業につながる経路を開発していく必要があると考えられる。

＊本研究は、厚生労働省平成 24 年度障害者総合福祉推進事業費補助金「盲ろう者通訳・介助員の養成カリキュラムの内容に関する調査」の助成を受けて実施した調査研究の一部である。